

きらり チームほおの木

<笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい>

令和2年6月13日(土)
文責 伊藤 博子

うがい、手洗い、笑い

新型コロナウイルス感染症予防のためには、3つの「い」が大切だそうです。うがい、手洗いは、菌を洗い流すこと、笑いは菌を寄せ付けない体を作ること。笑うことで病気を防ぐことができるのなら、毎日笑いましょう。毎日、笑顔で生活して、病気にかからないようにしましょう。笑顔いっぱいの学校にしていきましょう。

ある日のほおの木っ子

その1 給食が始まると、緊張の日々が始まります。まず、子どもたちが食べる前に、異物が混入していないか、賞味期限が過ぎていないかなどを確認しながら検食します。そして、アレルギーのある児童に、ちゃんと対応食が届いているかを確認します。さらに、当日のアレルギー対応食がある学級に行き、確実に対応食を食べること、他のものをおかわりしないことを確認します。学級で食べる給食にアレルギー反応が強く出る場合には、別な場所で食べてもらうこともあります。給食は、栄養を考えて作られたとてもおいしいものですが、口に入れるものなので、安心・安全のために毎日チェックしています。

ある日のことです。ある児童が、検食をしている私のところに来て、こう言いました。

「先生、今日も早く食べているんですね。もし、毒が入っていたらどうするんですか？死んじゃうんじゃないですか。」

「そういうものが入っていないかどうか確認するために早く食べているからね。その時はその時です。」

と答えると、

「先生、死んじゃだめじゃん。」

と一言。心配してくれてありがとうね。

その2 学校ではたくさんの方が働いています。図書館司書の小澤志帆先生は、週に2回図書館の整備等のために来てくださいます。その時に、毎回、日誌を書いてくださるのですが、その中に私たちが気づかなかったほおの木っ子のすばらしさが書かれています。紹介します。

「先週の委員会以降、図書委員さんが忘れずにしおり作りに来て来てくれています。貸出が忙しそうなきときは手伝ってくれたり、自分たちで考えて動いています。今月から貸出が始まった1年生にも優しく教えている姿も見られて良かったです。」

自分がしなければならないことをきちんと行うことだけでもすばらしいのに、さらにそこから一歩進んで、周りを見て自分たちに何が出来るか考え実行できるということはすごいことです。さすが、チームほおの木。そうした子どもたちがいることが、この学校をさらによりよい学校にしてくれると思います。

今回は、図書委員会の様子を紹介しました。次回も、たくさんの先生方の目から見た、ほおの木っ子の良さをお知らせしていきます。

